

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月29日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【高性能多核種除去装置のフィルタユニット(B)出口移送弁の弁状態表示不良について】 高性能多核種除去装置のフィルタユニット(B)出口移送弁の「開」動作時に、監視室の弁状態表示が不明であることを確認。 当該弁について、現場の弁状態は「全開」であり、弁開度位置スイッチ不良と判断。 今後、当該弁の開度位置スイッチを点検予定。 なお、当該弁は開閉操作は可能であり、現場目視にて開閉状態が確認できるため運転に支障はない。	GⅢ	8月27日